



2021年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 天童 淑巳  
 (コード番号 3726 東証二部)  
 問 合 せ 先 執行役員管理副本部長 上 畠 正 教  
 (TEL. 092-720-5460)

## 2021年9月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異および

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期第2四半期連結業績予想と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期通期連結の業績予想につきまして下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2021年9月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異 (2020年10月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,199	3	0	△4	△0.56
実 績 値 (B)	980	△93	△95	△88	△12.39
増 減 額 (B-A)	△218	△96	△95	△84	△11.83
増 減 率 (%)	△18.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2020年9月期第2四半期)	907	△166	△172	△182	△26.77

#### (2) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要は引き続き消失したままではあるものの、一方でGo Toキャンペーンなどの一定の政策効果もあり、個人消費は持ち直しつつありました。しかしながら、第3波と呼ばれる新型コロナウイルスの感染拡大により、倒産企業や失業者の増加が続き、さらに2021年1月7日の緊急事態宣言の発令が3月7日まで延長されるなど、国内景気の先行きは引き続き不透明感が強まっております。当社グループにおきましても業績回復に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進しており、また、グループ全体で取り組んでいるコスト改善プロジェクトの効果もあり、前年に対しては大幅に上回る業績となりました。しかしながら、コミュニケーション・セールス事業においては、Webプロモーションにより獲得した新規顧客の引き上げ率が予想を下回る結果となったこと、化粧品卸事業においては、ドラッグストアをはじめとした小売業界における新型コロナウイルス禍の影響は予測以上に根強く、予想を大きく下回る結果となったこと、衛生コンサルティング事業においては、飲食店、食品工場向け衛生サービスに関する需要掘り起こしにおきまして、新型コロナウイルス禍の影響により、飲食店の体力回復にはいまだ時間がかかっております。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は予想を下回る業績となりました。

## 2. 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

(1) 2021年9月期 通期連結業績予想の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	2,755	159	152	123	17.32
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2020年9月期)	1,967	△397	△405	△464	△68.02

### (2) 修正の理由

2021年4月1日に公表させていただきました「アロマ事業譲受完了並びに新たな事業の開始に関するお知らせ(開示事項の経過)」のとおり、日本リビング株式会社のアロマ事業の譲受につきまして、4月1日をもって対象事業の譲受が完了し、通期連結業績への影響につきまして精査しておりました。しかしながら、4月25日に発令された緊急事態宣言が5月31日まで延長されるなど、リテール店舗におきましては想定以上に影響が残るものとみられ、現時点では通期連結業績予想を合理的に把握することが困難であると判断したことにより、2021年9月期通期連結業績への影響等につきましては、確定次第公表いたします。

※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上